

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

遊休地内に誘致する「知のケイレツ」

1. 長らく日本の製造業は、ケイレツと呼ばれる部品や素材の強固な調達網が、企業間連携の中心にあった。その最たるものが自動車産業だろう。自動車メーカーの下に、数多くの部品メーカーが1次、2次、3次と連なるピラミッド構造だ。発注先や購入価格の決定で圧倒的な発言力を持つ自動車メーカーが頂点に君臨してきた。
2. 一方、北九州市黒崎地区は、三菱化学黒崎事業所によって九州有数の企業城下町として栄えたエリアだ。筑豊炭田のお膝元で、石炭を原料にした化学製品を生産してきた。だが、1990年代初頭から、主力だった汎用品の生産は、海外工場へと移築が進んだ。生産量は減少し、従業員は1960年代に比べて5分の1ほどになった。広大な敷地内には、錆びついた休止設備や空き地が点在する。
3. その一角に、真っ白なひとときわ高い建物が、完成へ向けて工事の大詰めを迎えている。半導体向け洗浄剤で世界シェア70%を占めるステラケミファの新工場だ。三菱化学とステラケミファに資本関係はない。「ケイレツ」と呼ばれる密接な関係でもない。それでも、三菱化学はステラケミファを積極的に誘致した。これは、「企業内工業団地」という手法を使った黒崎事業所の再生への挑戦だ。大規模な工場敷地内に生じた遊休地を他の企業に貸し出すことで生まれる。技術やノウハウといった「知」を軸に結び付いた「知のケイレツ」である。

(参考:「日経ビジネス」2014年4月28日・5月5日号)

新規成長分野

家事代行サービスの利用者広がる

1. 女性就業者の増加や高齢化を背景に、かつて富裕層向けであった家事代行サービスの利用者の裾野が広がっている。現在、1回2~3時間のサービスを週に1~2回提供するサービスが主流である。企業によって、利用者の約半数を共働き世帯が占め、単身女性や男性で30%弱、単身高齢者が10%を占めている。
2. サービスを提供するスタッフの多くは、子育てが一段落した主婦である。拡大する需要に対応するため、シニア女性を取り込み、50歳代以上のスタッフが半数を占める事業所もある。アベノミックスは女性の活躍推進を揚げ、保育所や学童保育の整備など待機児童解消策の整備等で、女性就業者が増加し、家事代行サービスの潜在ニーズは益々拡大すると考えられる。

(参考:「野村週報」:2014年7月7日号)

心・健康・環境について

健康長寿のための三つの時計

1. いかに健康に生きるか。三つの時計が大いにかかわっている。人体の中にある体内時計、腹時計、こころの時計だ。それらには、健康長寿のためのコツが隠れている。体内時計(生体時計)は、朝が来ると目が覚め、夜が来ると眠くなる。時間が来るとお腹がすいて規則的な食事を取る、というような当たり前に過ごしている生活リズム。
2. 腹時計は、お腹がすいたことを知らせる時計だ。今のような飽食の時代は、餌があるときとにかく食べるという能力を身に付けておかなければ、人間も生き延びられない。生き延びるためには、たとえば人間がクマと遭遇した場合、すべての能力を瞬時に脳に集めて、逃げるか戦うかを判断する。その能力がこころの時計の本来の姿だ。しかも、人間はこころの時計が怒りや悲しみ、思いやりまで操るようになった。こころの時計で、人間の時代を築けたともいえる。

(参考:「週刊東洋経済」2014年5月24日号)

古典に学ぶ

われに三宝あり

(解説)「大きいことは大きいが、どことなくぬけているようだ」。わたしの説く「道」を、世間はこのようなに批判している。「道」はたしかに大きい。大きいからこそ間がぬけて見える。間がぬけて見えないくらい大きいなどといえない。この「道」から、三つの宝が引き出せる。第一は「人をいつくしむ」心である。第二は、「物事を控え目にする」態度である。第三は、行動において「人の先に立てない」ことである。人をいつくしむからこそ、勇気が生まれる。控え目だからこそ、窮まることのない。人の先に立たぬからこそ、人を指導することができる。

(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)